

地域の概要



下甌町手打地区は、甌島列島の下甌島の最南端に位置しており、江戸時代には甌島郷の地頭の居館である地頭仮屋が置かれていた。北方には下甌町青瀬、下甌町片野浦が接しており、他方には東シナ海が広がっている。



○下甌地区
 人口 1,402名
 世帯数 950世帯
 高齢化率 51.1%
 ○麓自治会
 人口 210名
 世帯数 130世帯
 (薩摩川内市HPよりR7.6.30時点)



取組のきっかけ

高齢者が増えてきたことからお互いの安否確認をきっかけに始まった。高齢者クラブの活動が主であったがクラブの活動への参加が難しくなってきた方でも集まれる場所として開催している。

取組の目的

- 地域の集いの場
- 健康増進
- 活動を楽しみ地域住民が交流する
- 情報交換
- 見守り



これまでの経緯

年・月	出来事
平成21年4月～	集まるきっかけとして「お茶のみ会」立ち上げ
令和5年4月～	名称変更「ふもとサロン」として再始動 代表者の交代
令和6年	地域とのつながり活動開始 情報交換やお互いの安否確認ができる場となる。
令和6年	ふれあい花園活動
令和6年	小学校訪問交流
令和6年	頭の体操や普段接することの少ない警察や学校の先生等を招いてのお話会の実施

活動の概要

- 現在
月2回サロン実施 (第2・4の水曜日)



取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- SCの個人相談
- 健康教育や健康相談
- SCとの定期的な情報交換
- つながり発表会での活動周知
- SCの活動フォロー、内容把握
- 自治会ニーズ把握

〔SCとしての役割〕

- サロン参加者の困りごとの把握や相談
- 地域住民へサロン活動の周知
- 住民同士の理解があることで認知症になっても参加できる場所がある大切さを伝える。
- 介護予防もだが、まず楽しむことがサロン活動継続につながることを伝える
- 地域資源の情報を地域へつなげる

現時点での到達点 (効果・課題など)

〔効果〕

- 活動を楽しみ、地域住民が交流する場
- 情報交換の場
- 外出のきっかけや生きがい
- 健康増進
- 見守りの場

〔課題〕

- 役員の担い手不足
- 参加者の高齢化
- 次世代への継承
- 男性の参加者が少ない